

# 英語教師の リソース

RESOURCES FOR  
ENGLISH TEACHERS

## 電子黒板とデジタル教材を 使ってみよう

ーデジタル教科書:NEW CROWN『デジタルテキスト』ー

酒井英樹 Sakai Hideki  
(信州大学)



上: NEW CROWN のデジタル教科書  
『デジタルテキスト』(三省堂)

右: 電子黒板『SMART Board™』  
(日本スマートボードテクノロジーズ)



### 1. はじめに

本稿では電子黒板による NEW CROWN のデジタル教科書である『デジタルテキスト』(三省堂)の使い方の例を紹介する。菅・梅本(2009)は、電子黒板の利点として、黒板やテレビ画面に投影された画面上から直接操作できること、投影された画像の一部を拡大できること、画面に直接書き込めること、そして、画面と書き込みを記録・保存できることを挙げている。次の紹介する指導例は、これらの利点を生かすものである。

### 2. 書き込み機能(ペン機能)を利用した暗唱活動

『デジタルテキスト』の特徴に、英文の表示と文単位での音声再生がある。電子黒板のペン機能を使うと効果的に暗唱活動を実施できる。黒ペン(太字)を選択し、テキストの上から書き込み、英文を少しずつ隠すのである。生徒が読めない場合は、消しゴム機能を使ってすぐに再現させることができる。



電子黒板にはペン機能以外にも、指定された範囲を拡大することのできる機能がある。この機能を使うと、イラストや写真の画像情報に、生徒の注意を集めやすくなる。

### 3. フラッシュカード機能の活用

『デジタルテキスト』にはフラッシュカード機能もある。この機能で、単語の範囲を設定したり、日本語とあわせて提示したり、文字だけ見せたり、教科書の出現順だけではなくアトランダムな順番に提示順を設定することができる。小単語テストを実施してみよう。あるレッスン(パート毎の設定も可能)の単語を選び、設定する(学習順、手動提示、日本語、音声 off)。そして、1枚ずつカードを見せながら単語を書くように指示する。最後に設定を英語提示にする。単語を見せて各自答えを確認させる。



### 4. おわりに

小学校外国語活動において、『英語ノート』(文部科学省)のデジタル版も配布されている。今後は、デジタル教材を利用した授業に慣れている生徒が増えると予測される。小中の円滑な接続の促進のために、小学校で使われている活動や指導方法を使ってみるというのも一つのアイデアであると思われる。

【参考文献】 菅正隆・梅本龍多(2009)『小学校外国語活動「英語ノート」対応電子黒板活用ガイドブック』旺文社。